

佐野短期大学シラバス2013

科目名 Subject Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
中国語Ⅱ（生活と文化） Chinese		1年	前期・後期	木3限（春）・金1限（秋）
単位数	授業の形態		授業の性格	
1単位	演習		選択	
当該科目の理解を促すために受講することが望まれる科目				
特になし				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
特になし				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー	電話番号・メールアドレス	
陳順和	本館3F	木曜・金曜8:30～18:00 (授業時間を除く)	授業中に指示します	
授業の概要				
1. 中国語を初めて習う学生も履修できる。2. 中国語Ⅰの授業とは違う初級の教材ので、片方（中国語Ⅰや中国語Ⅱのどちらか）を履修してもいいし、両方ともに履修することも勧めたいと思う。3. 会話力・表現力を向上させるため、様々なテーマで繰り返し扱われる日常的な会話を学習する。特に聞き取りと口頭での受け答えの力を高めることに重点を置く。4. 新聞記事・写真・ビデオで中国の経済・文化・芸術・生活などを紹介する。				
授業の到達目標				
1. 中国語を正確に発音することができるようにする。2. 日常生活においてよく使われている中国語を話せることができるようにする。3. 中国に旅行した時に困らない程度の会話を習得することができるようにする。4. 中国の文化・政治・社会・生活習慣・風俗等の中国人の生き方・考え方を体得することができるようにする。				
授業の方法				
発音・会話・短文作りを繰り返して練習する（文型で短文作りの練習をする）。写真・ビデオ・プリント（新聞記事）で中国の真実を説明する。				
学習の成果				
1. 中国語の発音ができる（完成度80%）。 2. 日常生活によく使われている中国語を話せることができるようになる。日常生活の話題で短文作りができる。 3. 中国に旅行した時に簡単な会話（時間、場所、方法かどうかやって>、理由<どうして>、数量……など）ができる。 4. 修了した後も、続けて自習する能力を身につけることができる。 5. 中国の経済と社会についての関心度と理解度を高めることができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	単語や簡単な慣用句について解説する（第一回目から毎週中国の文化と生活を20分間ほど紹介）			
第2回目	単語発音練習（子・母音）	文法：主語＋動詞＋方向補語＋目的語		
第3回目	単語発音練習（複母音）	文法：主語＋動詞＋可能・結果補語＋目的語		
第4回目	短文発音練習（四声）	文法：主語＋動詞＋数量補語＋目的語		
第5回目	短文発音表現（四声）	文法：主語＋動詞＋目的語＋動詞の目的補語		
第6回目	短文作り練習 ト）	文法：主語＋形容詞子句（短文）		（中間テスト）

第7回目	短文作り練習	文法：主語＋動詞子句（短文）		
第8回目	短文作り練習	文法：可能助動詞・願望助動詞		
第9回目	短文作り練習	文法：有と在の使い方		
第10回目	作文（自己紹介）	文法：不と没の使い方		
第11回目	作文（自己紹介） ト）	文法：使役の表現	（中間テスト）	
第12回目	作文（自己紹介）	文法：受身の表現		
第13回目	作文練習	文法：助詞		
第14回目	作文練習	文法：比較文		
第15回目	まとめと期末テスト			
成績評価の方法と基準				
	評価の領域	割合	評価の基準	
	授業参加態度	20%	積極的に授業を受ける。宿題をきちんとやる。	
	レポート			
	調査報告書			
	小テスト			
	中間・学期末試験	80%	教えた分をテストする。合格点数は60点	
	発表内容（態度含む）			
	その他			
教科書と参考図書				
『簡易中国語文法』 陳順和・李卓				
履修上の心得・ルール				
1. 中国語の発音記号として決してカタカナを使ってはならない。2. 欠席・遅刻をしないこと、授業中の居眠りなどがないこと。				